

上越民商ニュース

発行

上越民主工商会
上越市栄町七一七
電話 025-52414816
FAX 025-52413298

2022年
5月23日
No.1500

4・17 県婦協総会開催

新商連婦人部協議会は17日、新潟市にて第41回定期総会を開催しました。

しばらくコロナ対策として記念公演を行つていませんでしたが、今年は二宮淳悟弁護士から「ジェンダーって何？」

くらしから考える憲法とジェンダー」と題しての講演会がありました。確かに戦前の女性は無権利状態であり、戦後の憲法に男女平等が規定されたからといつても、それが直ちに社会の中に反映されたわけではありませんでした。

性差の前に同じ人間としての個人への



5・1 第93回メーデー 民商から4名参加

小雨が降る5月1日、上越会場は以前午後からの開催でしたが、今年は午前中の開催となり、メーデー会場の雁木通りプラザに4名で参加しました。

「メーデー」とは本来世界各地で毎年5月1日に開催される労働者の祭典なのですが、「連合」のメーデーはその主旨から外れ4月下旬に開催されています。我々「全労連」のメーデーだけが少数ながら5月1日のメーデーに拘つて毎年開催されています。但し、

「ヒトスピーチ」などがそうです。最近はウクライナ情勢もあり、ロシア人へのヒトスピーチが問題になっています。

尊重が無ければなりません。同じことは性差以外にも見受けられます。ネット上での「誹謗中傷」や在日外国人への近はウクライナ情勢もあり、ロシア人へのヒトスピーチが問題になっています。

5月1日



話がそれましたが、講演後美味しい昼食をはさみ本題の総会へ進みました。冒頭、渡辺会長の挨拶ではウクライナ問題に触れ、「平和でこそ商賈繁盛」を力に婦人部も増やしていくなければいけない。「是非、あなたも婦人部へ」と声をかけ、会員費4割婦人部を目指すと力強く訴えました。

代表発言では、村上・燕・西蒲・三条・新潟の婦人部からそれぞれの民商での婦人部活動が報告されました。

その後、方針案・決算報告・予算案・役員推薦について全会一致で採択され終了となりました。

また、久し振りに「物産展」も開催され、野菜やお菓子、工芸品や万能茶など様々なものが並び、とても賑やかな総会でした。

5・10 支援金相談会開催



上越民商では現在、国の「事業復活支援金」制度の申請作業に迫われています。近年不正受給が絶えないことから、残念ながら一昨年の「持続化給付金」の時のように寛容で積極的な制度ではなくなり、手間のかかる規模縮小の制度となっています。民商ではこのコロナ禍で売上が下がつてしまつて、会員に積極的に利用を促していますが、面倒くさいと言つて申請を取り下げたりされる会員もいる反面、持続化の頃はそれ程でもなく

（次頁へ）

このコロナ禍のために最近2回は実施できていませんでした。感染防止対策をしてのメーデー開催に今年はやっと漕ぎついた次第です。

生憎、オーブニングの「うたごえ」やデモ行進でのシュプレヒコールは控え、小雨交じりの濡れながらのデモ行進で大変でしたが、「インボイス制度反対」や「消費税減税」のぼり旗を掲げて意気高く1時間近くのデモ行進を務めました。

支援金を貰わなかつた会員が、今は是非貰いたいと言つて相談に来るケースもあります。今取り扱つている方は会員が中心ですが、身の回りで支援金のことを知らない事業者仲間がいたら、「民商に相談してみたら」と一声掛け

て下さい。「仲間増やし」に繋がるかもしれません。

「民商に相談してみたら」と一声掛けは月末で終了します。早めに取り掛からないと間に合わないかもしません。お早めにどうぞ。

5・29は 県知事選挙

上越民商・新商連も参加する「民主県政を実現する新潟県みんなの会」は、国言いなりの花角県政の転換を目指して、**片桐なおみ候補を推薦することに決めました。**



中小業者が大切にされる県政の実現を目指しましょう！
なお、既に期日前投票が行われております。お近くの投票所にお出かけ下さい。

会員・読者・共済会員・
婦人部員・青年部員
各々募集中です！



民商では5月から7月にかけて国・県・地元の組織の総会が立て続けに開催されます。それに向け現在仲間増やしに奮闘中です。あなたの身近な人で民商の仲間になれる人、商工新聞を読んでくれる人を紹介して下さい。

5月は民商の年度末です

会費・紙代の納入はお早めに。今月の当番さん、宜しくお願ひします。

自分で会費・紙代を滞納していると自覚のある方は、是非率先して民商へお届け下さい。支部の役員さん、未収克服にも力を貸して下さい。

そして、共済会の「健診補助費」や「インフルエンザ補助金」を貰い忘れていませんか。請求は5月末で締め切りです。

この結果を受け、上越民商三役会も先月、民主的な県政を実現するため片桐候補を推薦して選挙戦をたたかうことに決めました。
片桐候補は原発の再稼働に反対。医療も守り弱者に寄り添う政治を公約に掲げています。片桐知事を誕生させ、